ひまわり祭りと巨大太陽フレア

田中直樹

先月の 7/23、佐用町で行なわれていた「ひまわり祭り」での西はりま天文台太陽観察ブースの補助として行ってきました。このひまわり祭りでの太陽観察、真夏のカンカン照りのときに太陽なんて見ようなんて言うイベントですから、それはもう暑い。肌が焼ける焼ける。

そんな話は置いといて、この日の太陽には活発な活動域と思われる黒点群（2565 と 2567）があり、正午を過ぎた頃に Hα 望遠鏡で明るい太陽フレアを見ることが出来ました。
そのフレアも 14 時頃には小さくなり、西はりま天文台の T 氏と「今日はこれで終わりかな～」と言うような話をしていた時、T 氏が「また明るいフレア出てきた」と一言。先ほどと同じ黒点群にまた明るい光が見え、しばらくすると『形が変わってきた』との事。

と言う訳で、お客さんの後に望遠鏡を覗いてみると「何コレスゲエ!!」 まるで木の枝が伸びるように太陽から噴き出したと思われるガスの形が見え、それが周囲のプロミネンスよりあからさまに明るい!! それもおそらく地球の 10 倍はあろうかと思われる大きさで。
それが、約一時間程度で形が大きく変わっていき、やがては特大のプロミネンスのような姿に変わっていきました。

天文台関係者二名がバカ騒ぎしているところから周りのお客さんも事の重大さ（？）に気が付いたようで、僅かながらもこの天文現象を見ていただくことが出来ました。

後々調べてみますと、このとき見えたのは M7.6 の太陽フレア（他にも M5 クラスのものも連続して発生したらしいです）であり、なんと今年最大だったと言うことでした。

これまで結構 Hα で太陽を見てきましたが、これほどの現象は今まで見たことがありませんでした。
いやぁ、エエもん見た!!

左：携帯コリメートで撮影した太陽フレア
（トリミング済み）

正直、携帯コリメート画像ではあの凄さは一ミリも伝わってこないです。眼視で見たときのあの迫力を上手く伝えられないのが実に残念。